

品質証明 (SDS)

作成：2020年1月10日
改訂：2024年4月30日

1. 化学物質等及び会社情報

会社名
住所



株式会社 創建

担当部門
電話番号
推奨用途
使用上の制限

東京都豊島区西池袋1-11-1
メトロポリタンプラザビル17F
開発部
03-5992-9231
接着剤
接着剤

FAX番号 03-5992-6423
緊急連絡先 03-5992-9231

MaterialsID 203

製品名：コークボンド M (ツヤ消し)

※シックハウス対策について

上記の製品はF☆☆☆☆です。（「16. その他の情報」参照）

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 分類基準に該当しない。
GHSラベル要素
絵表示 : 情報なし
注意喚起語 : 情報なし
危険有害性情報 : 情報なし

注意書き
安全対策 : 情報なし
応急措置 : 情報なし
保管 : 情報なし
廃棄 : 情報なし

3. 組成及び成分情報

単一化合物・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : アクリル樹脂系エマルジョン形シーリング材・接着剤

成分名	含有率 (%)	CAS RN®	官報公示整理番号		
			化審法	安衛法	化管法
アクリル樹脂	20-30	非開示	対象外	対象外	対象外
水	5-10	7732-18-5	非開示	非開示	対象外
塩化パラフィン (C14-17)	5-10	非開示	非開示	非開示	一種597
二酸化チタン	1-5	13463-67-7	1-558, 5-5225	2-(3)-509	対象外

化管法欄に化管法物質番号がある場合、物質名及び含有量は「15. 適用法令」に記載しています。

4. 応急措置

吸入した場合 : 吸入して、かゆみ等の異常が生じた場合は速やかに新鮮な空気のある場所に移し、安静・保温に努め速やかに医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合 : 付着物を拭き取り、中性石鹸を使ってよく洗い落とす。外観に変化が見られたり、かゆみ、炎症等の症状が出た場合は医師の診断を受ける。（汚染された衣服や靴は脱ぐ）
眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分以上洗眼し、痛みが残る場合は眼科医の診断を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、直ちに医師の診断を受ける。水で口の中を洗浄してもよい。被災者に意識が無い場合は口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 粉末・炭酸ガス・泡。
使ってはならない消火剤 : 情報なし
特有の消火方法 : このものの自体に可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性がある。燃焼の際は火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。消火作業は風上から行い、必要に応じて保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の立ち入りを禁止する。作業の際は必ず保護具を着用する。
環境に対する注意事項 : 回収物およびウエスは、廃棄上の注意に基づき廃棄する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合は、紙や布で拭き取る。大量の場合は、火花の出ないシャベル等で密閉できる容器にすくい取る。（ウエス・砂等に吸収させ蓋付き容器に回収する）。
二次災害の防止策 : 情報なし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策 : 水による希釈や品種の異なる接着剤との併用及び混合はしない。
使用時及び取扱い箇所には、『火気厳禁』及び『立入禁止』の表示を行う。

上記の内容に相違ないことを証明致します。



株式会社 創建



安全取扱注意事項	一度開封した接着剤は、できるだけ早く使い切る。使い残した場合は密封して保管する。 ：使用箇所及び貼付け材料は、容器の表示を確認し使用する。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 ：現場施工用接着剤です。 取り扱い場所及び作業箇所は換気を行ない、施工後も接着剤が硬化するまで、通常の換気（日常生活の程度、朝夕1～2時間）を行なう。
接触回避 衛生対策	：『10. 安定性及び反応性』を参照。 ：使用時は目・皮膚等への接触を避けるため適切な保護具（手袋・長靴・保護マスク等）を着用する。 ：作業中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を中止し必要に応じて医師の診察を受ける。身体や衣服に付いた時は、速やかに石鹸水等で洗い落とす。
保管 安全な保管条件	：直射日光を避け、容器を密閉して5℃～35℃の環境で子供の手の届かない屋内に場所を定めて保管する。誤飲防止と食品への混入を避けるため、保管場所は食品と区別する。 ：消防法・労働安全衛生法等の法令に従う。取扱い後・休憩前は手洗い、うがい、洗顔等を行う。食品への混入を避ける為、食品容器、給餌器等には使用できません。使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託する。河川・湖沼・下水道などへ廃棄したり、流入させない。使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。
安全な容器包装材料	：情報なし。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度／許容濃度／濃度基準値

化学名	管理濃度	産業衛生学会	ACGIH	濃度基準値
アクリル樹脂	-	-	-	-
水	-	-	-	-
塩化パラフィン (C14-17)	-	-	-	-
二酸化チタン	-	0.3mg/m3	-	-

設備対策：局所排気装置又は、自然換気等の換気を行う。

保護具

呼吸用保護具	：着用が望ましい。
手の保護具	：着用が望ましい。
眼・顔面の保護具	：着用が望ましい。
皮膚及び身体の保護具	：着用が望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	：ペースト	分解温度	：情報なし
色	：ホワイト ブラック との色	pH	：情報なし
臭い	：エマルション臭	動粘性率	：情報なし
融点／凝固点	：0℃（水として）	溶解度	：水に可溶
沸点又は初留点及び沸騰範囲	：100℃（水として）	n-オクタノール／水分分配係数 (log値)	：情報なし
可燃性	：情報なし	蒸気圧	：情報なし
爆発下限及び爆発上限／可燃限界	：情報なし	密度及び／又は相対密度	：0.94-1.14/cm3
引火点	：（引火せず）	相対ガス密度	：情報なし
自然発火点	：情報なし	粒子特性	：情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	：通常の保管及び取り扱いにおいては、安定と考えられる。
化学的安定性	：通常の保管及び取り扱いにおいては、安定と考えられる。
危険有害反応可能性	：通常の保管及び取り扱いにおいては、安定と考えられる。
避けるべき条件	：特になし
混触危険物質	：特になし
危険有害な分解生成物	：情報なし

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	：情報なし	皮膚感受性	：情報なし
急性毒性（経皮）	：情報なし	生殖細胞変異原性	：情報なし
急性毒性（気体）	：情報なし	発がん性	：情報なし
急性毒性（蒸気）	：情報なし	生殖毒性／授乳への影響	：情報なし
急性毒性（粉塵ミスト）	：情報なし	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	：情報なし
皮膚腐食性／刺激性	：情報なし	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	：情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：情報なし	誤えん有害性	：情報なし
呼吸器感受性	：情報なし	その他	慢性毒性：現在のところ知見なし。 催奇形性：現在のところ知見なし。

上記の内容に相違ないことを証明致します。



株式会社 創建

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	: 情報なし	残留性・分解性	: 情報なし
水生環境有害性 長期（慢性）	: 情報なし	生体蓄積性	: 情報なし
オゾン層有害性	: 情報なし	土壤中の移動性	: 情報なし
生態毒性	: 情報なし		

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	: 情報なし

14. 輸送上の注意

国連番号	: 該当しない
品名（国連輸送名）	: 該当しない
国連分類	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
海洋汚染物質	: 非該当
MARPOL 73/78 附属書 II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	: 非該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	: 転倒・落下・損傷のないように取り扱い、荷崩れの防止を確実にを行う。
国内規制	
陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法等の規定に従う。
海上輸送	: 船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	: 航空法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号	: 該当しない

15. 適用法令

消防法	: 非該当
化学物質把握管理促進法	: 第一種 塩化直鎖パラフィン（炭素数が14から17までのもの及びその混合物に限る。） 6.8%
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 第57条の2 通知対象物（別表第9の191 二酸化チタン） 第57条 名称表示物質（別表第9の191 二酸化チタン）
化審法	: 優先評価化学物質（塩化パラフィン（C14-17））
海洋汚染防止法	: 有害液体物質（Z類物質）（施行令別表第1） 有害でない物質（施行令別表第1の2）
外国為替及び外国貿易法	: 輸出入貿易管理令別表第1の16の項
じん肺法	: 法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	: 産業廃棄物（法第2条第4項）

16. その他の情報

ホルムアルデヒド基準（日本シーリング材工業会）	: J S I A - 8 1 6 0 0 4 F☆☆☆☆
建材からのVOC放散速度基準（日本接着剤工業会）	: 4VOC基準適合 J A I A - 5 0 7 0 8 8

この「安全データシート」は、当社の製品を適正にご使用頂くために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の使用を対象としたものです。

本製品の使用方法については、この「安全データシート」をご参照の上、使用者の責任においてお決め下さい。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の含有量が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

ここに記載された内容は当社所有の情報によるものですが、情報の完全さを保証するものではありません。

又、法令の改正及び新しい知見に基づき改訂されることがあります。

記載内容のうち、成分及び含有量、物理化学的物質などの値は、品質保証値ではありません。

ここに記載された内容は情報提供であって、いかなる保証をするものではありません。

上記の内容に相違ないことを証明致します。



株式会社

